

当社および当社連結子会社が受給した 雇用調整助成金等に関するご報告

調査結果および再発防止策について

株式会社エイチ・アイ・エス

2025年 3月31日

東証プライム：9603

1. 特別調査委員会による調査結果

2. 原因分析・再発防止策について

1. 特別調査委員会による調査結果

2. 原因分析・再発防止策について

特別調査委員会による認定事実

HIS

調査対象 計29社 ※現在 非連結（受給当時は連結対象）7社含む

不適正受給	不正受給	
	（経営者不正は認められない）	（経営者不正が認められる）
15社 （HIS含む）	1社	2社

- 事業主等が故意に虚偽を申請したわけではないが、申請に誤りがあったこと。

- 事業主等が故意に支給申請書に虚偽の記載を行ったり、その他不正の行為により本来受けることのできない助成金の支給を受けること。

不適正受給

計15社

- HIS
- ツアーウェーブ
- オリオンツアー
- ラグーナテンボス
- 九州産交ランドマーク

- 九州産交バス
- KASSE JAPAN
- 九州産交ツーリズム
- ジャパンホリデー
- エイチ・エス損害保険

- HIS沖縄
- 九州産交リテール
- ミキ・ツーリスト
- HISホテル
ホールディングス
- 産交バス

不正受給

計3社

役員による指示は認められない

- ・ 欧州エクスプレス

役員による指示が認められる

- ・ クルーズプラネット
- ・ ナンバーワントラベル渋谷

最終的な雇調金受給の不適正/不正の判定は、労働局により確定されます。
(※HIS、ナンバーワントラベル渋谷は労働局から最終判定を受領済みです)

1. 特別調査委員会による調査結果

2. 原因分析・再発防止策について

①

コンプライアンス
意識の醸成

②

グループ
ガバナンスの強化

③

公的助成金の申請
における
内部統制の見直し

④

労務管理の徹底

⑤

内部通報制度の周知
および活用の推進

⑥

内部監査体制の
見直し

原因分析

- ・ 労働法規や助成金制度に対する理解不足
- ・ コンプライアンス教育の不十分さ

再発防止策

- ・ HISグループ内の意識統一
 - ・ グループ全体へのコンプライアンス意識向上の啓蒙活動
 - ・ コンプライアンス遵守のトップメッセージ発信
- ・ コンプライアンス研修の見直し
 - ・ 管理職向けの労働法規や助成金制度の遵守徹底の為の教育
 - ・ 勤怠管理や助成金申請に潜むリスクを認識する為、本事案を元にした各役職に応じたコンプライアンス研修の実施

②グループガバナンスの強化

HIS

原因分析

- ・ 子会社管理体制の脆弱性
- ・ リスク認識の不足

再発防止策

- ・ 子会社管理体制の見直し
 - ・ 子会社ガバナンス検討会(仮称)を立上げ、長期的な子会社ガバナンス高度化
 - ・ 子会社の役員選任基準や評価制度、報酬決定プロセスの見直し
 - ・ 子会社の役員任期を定め、マネジメント固定化の防止
 - ・ HISからの取締役、監査役の責任範囲を明確化し、子会社役員の業務執行監督を強化
 - ・ 子会社管理部門の体制、権限増強
 - ・ 子会社による助成金申請を国内関係会社管理室が把握することで不正リスクを回避

↓つづく

再発防止策

・子会社管理体制の見直し（つづき）

- ・子会社からの報告/承認事項、レポーティングラインを明確化し、透明性のある関係を構築（コミュニケーション強化）
- ・子会社管理部門と子会社間の課題共有の機会増加

・リスク・コンプライアンス委員会の機能強化

- ・リスク評価再認識と対策検討

原因分析

- 助成金申請ルールへの周知不足
- 申請業務の集中と牽制の欠如

再発防止策

- 助成金申請ルールの明確化と運用徹底
 - 助成金申請に関するルールを明確化し、HISグループ内に周知徹底
 - 助成金申請部署と内容を確認/管理する部署を分離し一定の牽制が働く体制を構築
- モニタリング体制の強化
 - 助成金申請内容のモニタリングを実施し、不正リスクを回避

原因分析

- ・ 不十分な勤怠管理

再発防止策

- ・ 勤怠管理業務の見直し及び管理強化

- ・ 営業部門、管理部門それぞれの業務及び役割を再整備
- ・ 正しい勤怠管理の為のセルフモニタリング
(労働時間が正確に記録されていることを定期的を確認)
- ・ 人事部門による勤怠のモニタリング

原因分析

- ・ 内部通報制度の信頼性不足

再発防止策

- ・ 内部通報制度の更なる周知

- ・ 子会社における周知、啓蒙活動の促進（助言、報告）

- ・ 内部通報制度の信頼性向上

- ・ 内部通報制度の利用促進を目的とした定期的な情報発信や啓蒙活動を増強
- ・ 内部通報制度の信頼度を計るためのアンケート調査をグループ全体に展開
- ・ 現存の外部窓口に通報しづらい場合に選択できる窓口を検討

⑥内部監査体制の見直し

HIS

原因分析

- ・ 不十分な監査方法・方針
- ・ 内部監査部門のリソース不足

再発防止策

- ・ 内部監査部門の組織強化
 - ・ 内部監査部門の人員増強と専門性の向上
- ・ 内部監査部門の実効性向上
 - ・ 内部監査の効率的かつ効果的な実施にむけたリスクアプローチの高度化
 - ・ 公的な助成金に関する監査方法、方針の見直し（＝改ざんも想定した監査の実施）
 - ・ 子会社に対する監査頻度の増加
 - ・ 子会社の業務運営に対する監査体制の強化（＝内部監査部門の権限強化）

①

コンプライアンス
意識の醸成

②

グループ
ガバナンスの強化

③

公的助成金の申請
における
内部統制の見直し

④

労務管理の徹底

⑤

内部通報制度の周知
および活用の推進

⑥

内部監査体制の
見直し

HIS

「心躍る」を解き放つ